

# 自主防災組織の役割と活動

自主防災組織とは、地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ために活動することを目的に結成する組織の事です。自主防災組織は、日頃から災害に備えた様々な取組を実践するとともに、災害時には、災害による被害を最小限に食い止めるための活動を行います。

## 災害に備える

- 地域の安全点検
- 避難経路・避難場所の確認と点検
- 地域住民に対する防災知識の普及と啓発
- 防災資機材の整備と点検
- 自力で避難や移動が困難な方などの確認

災害による被害を最小限に食い止める

- 避難誘導
- 初期消火
- 救出・救護
- 情報の収集・伝達
- 給食・給水
- 避難所の運営

## 平常時と災害時の取組

災害発生時には、今治市や関係機関は全力をあげて対応にあたりますが、火災や道路の寸断・断水・停電など様々な被害が広い範囲で起きた場合は、対応が非常に困難な事態が予想されます。このような場合には、地域ぐるみで協力し合い、助け合うことが大切になります。地域の自主防災組織を結成して、防災知識を身につけることや、いざというときの役割分担を決めるなどして、地域の防災力を高めましょう。



## 要配慮者(災害時要援護者)について

要配慮者とは、年齢や障がい、言葉の違いなどによって災害発生時の対応に何らかのハンデを負っている人々のことです。一般に高齢者や障がい者、乳幼児や妊産婦、日本語を十分理解できない外国人の方々などが該当します。地域で協力しあいながら、近所の要配慮者の安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

**■ 高齢者・病人**

- おぶって安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。

**■ 目の不自由な方**

- 声をかけ情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持つてもらい、半歩手前をゆっくり歩く。

**■ 肢体の不自由な方(車椅子)**

- 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。

**■ 耳の不自由な方**

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

# 災害用伝言サービス

地震や洪水などの大災害発生時は、電話利用が急激に増加し、電話がつながりにくい状況が数日間続くことがあります。このような場合は、「災害用伝言ダイヤル」・「災害用伝言板サービス」・「災害用ブロードバンド伝言板(web171)」が開設されます。

災害用伝言ダイヤル	伝言の録音方法	伝言の再生方法
<p>このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間などで、伝言の登録・再生をすることができます。</p> <p><b>体験利用日</b> 毎月1日・15日、正月三が日、および防災週間、防災とボランティア週間</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 171をダイヤル</li> <li>② 1を押す</li> <li>③ 被災地の方の電話番号を「市外局番」からダイヤルしてください</li> <li>④ 伝言を録音する</li> </ol> <p style="text-align: center;">被災地内の方も、被災地以外の方も</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 171をダイヤル</li> <li>② 2を押す</li> <li>③</li> <li>④ 伝言を再生する</li> </ol>

## 災害用伝言板サービス

携帯電話を使って被災者は安否状況の伝言を登録し、外部の人がその伝言を確認できます。携帯電話のトップメニューから「災害用伝言板」を開き、伝言の登録・確認を行います。



**安否状況の登録**  
伝言・安否状況等を入力します。

**安否状況の確認**  
安否状況を確認したい相手の携帯番号を入力して検索します。

## 災害用ブロードバンド伝言板(web171)

<https://www.web171.jp/> ← 左記URLへアクセスし、案内に従って操作してください。

インターネットを利用して被災者の安否確認を行う伝言板です。伝言情報の登録・閲覧が可能です。

## 災害時に備えて ✔非常持出品・非常備蓄品をチェック

災害が発生したときは、すぐに避難しなければなりません。避難する場合に備えて、リュックサックなどに必需品をまとめ、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

できれば7日以上を準備しましょう

非常持出品 <span style="float: right; border: 1px solid white; border-radius: 15px; padding: 2px 5px; color: white;">災害発生時に最初に持ち出すもの</span>	
品 目	点検日
<input type="checkbox"/> 非常食	
<input type="checkbox"/> 飲料水	
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(予備の電池)	
<input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器(電池使用の場合は予備の電池も)	
<input type="checkbox"/> ろうそく(ランタン)	
<input type="checkbox"/> ライター(マッチ)	
<input type="checkbox"/> ティッシュペーパー(ウエットタイプも)	
<input type="checkbox"/> ビニール袋	
<input type="checkbox"/> 上着	
<input type="checkbox"/> 下着	
<input type="checkbox"/> 救急医薬品(傷薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、胃腸薬、目薬など)	
<input type="checkbox"/> 常備薬	
<input type="checkbox"/> 現金	
<input type="checkbox"/> 貴重品(免許証、健康保険証のコピーなど)	
<input type="checkbox"/> 懐中電灯(予備の電池・電球)	
<input type="checkbox"/> ヘルメット(防災ずきん)	
<input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り、栓抜き	
<input type="checkbox"/> タオル	
<input type="checkbox"/> 軍手	
<input type="checkbox"/>	

非常備蓄品 <span style="float: right; border: 1px solid white; border-radius: 15px; padding: 2px 5px; color: white;">災害復旧まで自活するためのもの</span>	
品 目	点検日
<input type="checkbox"/> 食品(乾パン、缶詰、レトルト食品など火を通さなくても食べられるもの)	
<input type="checkbox"/> 飲料水(1人あたり1日3リットル)	
<input type="checkbox"/> 燃料(卓上コンロ、固形燃料、予備のガスボンベなど)	
<input type="checkbox"/> 洗面用具(歯ブラシ、石けん、タオル、ドライシャンプーなど)	
<input type="checkbox"/> 簡易食器(割り箸、紙皿、紙コップなど)	
<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ、マスク、新聞など	
<input type="checkbox"/> 予備のメガネ、予備の補聴器など	
<input type="checkbox"/> 毛布、タオルケット、寝袋など	
<input type="checkbox"/> 衣服(季節に合わせて衣替えをすること)	
<input type="checkbox"/> なべ、やかん	
<input type="checkbox"/> ラップ、アルミホイル	
<input type="checkbox"/> 簡易トイレ	
<input type="checkbox"/> 工具類(ロープ、バール、スコップ、カッターなど)	
<input type="checkbox"/> 文具類(筆記用具、ノート、マジックなど)	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	